

## 第 1 回会議での「公費タブレット導入」に関する主な意見 (R5. 11. 22 第 3 次千葉市議会運営活性化推進協議会)

### 1 目的及び活用について

- ・ 3つの導入目的（紙の削減、業務の効率化、迅速な情報伝達）は堅持して進めていくべき。一定の機能を備えたタブレットを導入することで、これまで整備してきたシステムを含め活用していける。
- ・ 公費として導入するには、その運用、活用やルールをしっかりと決める必要がある。どう運用、活用するか、しっかり市民に説明できるようにする必要がある。
- ・ タブレットを入れてどう活用していくのか、議論が必要。オンライン会議等にも使える可能性があるし、また、データを蓄積できるので、議会の活性化のため有効に使っていけるだろう。
- ・ ある程度使えるようになり、新庁舎になって環境も整った。議会のデジタル化を進めていく必要がある。どう運用、活用していくか決めていきたい。

### 2 ペーパーレス化について

- ・ 今の状態でタブレットを導入することは、合理性や大義がないので、ペーパーレスに向けた議論を進めていくことが大事である。
- ・ 効率的な審議・審査の面から、必要最小限の資料を残すことも必要である。
- ・ 冊子はタブレットでは閲覧しづらく、現在の7つの資料は紙配付して欲しいという思いはあるが、この部分的ペーパーレスを乗り越えることが、タブレットの導入の一つの条件にもなると思う。
- ・ 完全ペーパーレスについては、取り組んでいく努力をしていく必要がある。
- ・ 紙資料の取り扱いについて、いっぺんに変えるのではなく、徐々に行ってほしい。
- ・ タブレットの導入までに時間がかかるのとことであり、その間にペーパーレスを段階的に進めていけばよいのではないかと。